

公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団
第 49 作伝統文化記録映画

蒔絵 室瀬和美
時を超える美

KAZUMI
MUROSE

みる

蒔絵

人間国宝・
室瀬和美がつなぐ
漆と音の Mariage

きく

NAOKO
YOSHINO

^{まき え}みる蒔絵 ^{まき え}きく蒔絵

—人間国宝・室瀬和美がつなぐ漆と音の Mariage—

出演：室瀬和美 (重要無形文化財「蒔絵」保持者)

吉野直子 (ハーブ奏者) ※室瀬氏が蒔絵を施したハーブを使用します

日程：平成 30 年 1 月 21 日 (日)

開場：13 時 30 分 開演：14 時 全席自由 (入場無料)

会場：新宿区四谷区民ホール 〒160-8581 新宿区内藤町87番地 Tel：03-3351-2118

交通アクセス 電車：東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」2 番出口(大木戸門)より徒歩 5 分

バス：品 97 新宿駅西口～品川車庫「新宿一丁目」下車

<http://www.shinjuku.hall-info.jp/pc/access.html>

主催：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団 後援：新宿区

まき え 蒔 絵 を ご 存 知 で す か 。

漆で文様を描き、その漆が固まらないうちに金粉をまきつけ表現する技法を蒔絵と言います。

この技法で重要無形文化財保持者となった室瀬和美氏。漆芸家として、作品を創り続けながら、国内外へ漆の素晴らしさを発信し続けてきました。

2017年11月、室瀬和美氏の活動に密着し、丁寧に撮影した記録映画が完成しました。本公演では、記録映画完成を記念した上映と、室瀬蒔絵の音に関わる作品を、みなさんに聴いていただき、その世界観を感じていただきたいと思ひます。



室瀬 和美

1950年東京生まれ。漆芸作家の父・室瀬春二氏の仕事を見ながら育ち、高校生のとき漆芸・蒔絵の道を志す。東京藝術大学大学院（漆芸専攻）修了。人間国宝の松田権六、田口善国に師事。旺盛な創作活動と並び、漆工文化財の保存・修復に取り組み、1996～98年に手がけた三嶋大社所蔵の国宝『梅蒔絵手箱』の復元模造はその後の創作活動に大きな影響を与えた。漆の素晴らしさと蒔絵の美を国内外で発信し続けている。日本伝統工芸展において、東京都知事賞など多数受賞。2008年、重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝）に認定。同年、紫綬褒章受章。（公社）日本工芸会副理事長。近著、『Maki-e Urushi 室瀬和美作品集』（新潮社図書編集室、2014年）。



photo Akira Muto 武藤章

吉野 直子

ロンドンに生まれ、6歳よりロサンゼルスでスーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学び、1985年第9回イスラエル国際ハープ・コンクール優勝。ベルリン・フィルなど世界の主要オーケストラ、アーノンクール、メータ、小澤征爾などの著名指揮者と共演を重ね、リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など数多い。2016年に自主CDレーベル graziosoを創設し、新録音プロジェクトを開始した。1985年アリオン賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。国際基督教大学卒業。

申し込み

事前の申し込みが必要です。往復ハガキに①参加者全員のご氏名・ふりがな・年齢②参加人数③代表者様のご連絡先（電話・住所）④往復ハガキ返信欄に返信先の住所・氏名をご記入の上、右記の宛先までご郵送ください。尚、応募者多数の場合は抽選となります。

締め切り

第一回：2017年12月18日(月) 必着
第二回：お席に余裕のある場合に限り、
1月上旬に弊財団HPにてご案内

お問い合わせ・ご郵送先

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-2-10 ポーラ第2五反田ビル
公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 「新宿区上映会係」
Tel：03-3494-7653
URL：http://www.polaculture.or.jp/index.html